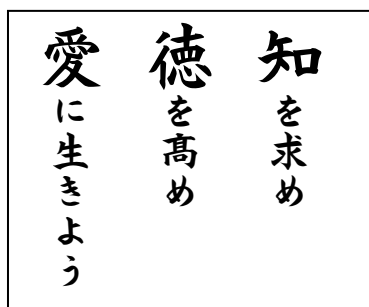
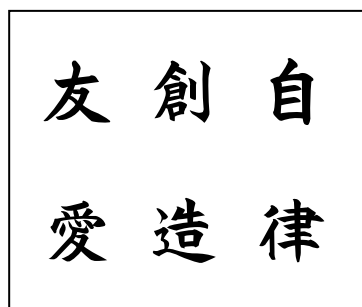


1 建学の精神、教育理念



建学の精神



教育理念

2 大学院の目的

看護学の基礎教育を基盤として、看護学をより深く探究し、科学的思考力と研究の手法を修得して看護研究を遂行する能力の開発を行うとともに、地域の多様な保健医療ニーズに適切に対応することのできる高度な看護実践能力の開発を図ることを通して、看護の質の向上に寄与できる人材の育成を目指します。

3 教育目標

- 1) 科学的・論理的思考を看護の研究や実践に応用できる人材を育成します。
- 2) それぞれの看護領域でよりよい看護を追究できる専門的職業人を育成します。
- 3) 地域社会の実情に適した看護方策を施行し、地域の健康増進に貢献できる人材を育成します。
- 4) 国際的視野を持ち、看護を通じてわが国と他国の社会に貢献できる人材を育成します。

4 修業年限・学生定員

本大学院の修業年限及び学生定員は、以下のとおりです。

課 程	専 攻	修業年限	定 員	
			入学定員	収容定員
看護学研究科 (修士課程)	看護学専攻	2年	10名	20名

※特定行為研修の定員は、入学定員10名中5名とする。

5 看護学専攻の構成

看護学専攻は、以下のコース、分野及び領域で構成されます。

専攻	コ ー ス	分 野	領 域
看護学専攻	修士論文コース	総合看護学分野	看護教育学領域
			国際看護学領域
			看護管理学領域
	臨床看護学分野	母子看護学領域	
		成人看護学領域	
精神・老年看護学領域			
地域看護学分野	地域看護学領域	地域・在宅看護学領域	
		—	
プライマリケア看護コース※	プライマリケア看護学分野	—	

※特定行為研修を含む

6 アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本大学院の目的及び教育目標に基づき、次のような人材を広く求めます。

○修士論文コース

- 1) 看護にかかわる実践的な課題を科学的に探究することに関心がある人
- 2) 看護実践・教育等の経験をもとに看護現象を研究し、看護の発展に貢献する意欲がある人
- 3) 国内外の看護・保健・医療の比較考察に関心を持ち、国際的視点で看護の課題を探究したいと考える人

○プライマリケア看護コース

- 1) 地域の人々の健康の維持・増進・疾病の悪化予防に寄与する意欲をもつ人
- 2) 看護実践の科学的な根拠を探究し、自己研鑽し続ける意志と学習意欲をもつ人
- 3) 豊かな人間性と倫理観を備える人
- 4) 協調性と自律性を備え、多職種と協働できる人間関係能力をもつ人

7 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本大学院の目的及び教育目標に基づき、以下の方針のもとで教育を実施します。

○修士論文コース

高度の実践的なアセスメントやコミュニケーションに関する理解、あるいは国際的な場や地域における看護の動向や課題等の理解を踏まえて、看護における研究の意義と方法の基礎を理解します。さらに看護の専門領域における科学的論文をクリティークする方法を学修し、修士論文の作成を通じて、実践に活用できる研究能力を養う教育課程とします。

○プライマリケア看護コース

- 1) プライマリケアの分野で医療行為を安全に実施する能力を身につけるために、教育課程に特定行為研修の研修内容を含みます。
- 2) 必要な臨床判断、治療の管理、治療効果の判断を自律的に実践する能力を身につけるための科目を設けます。
- 3) 医師ならびに関係者と連携・協働し、対象者の意思決定を尊重しながら医療・看護を提供する能力を身につけるための科目を設けます。
- 4) プライマリケアの包括性・継続性を理解し、高度な看護の実践者としての役割発揮ができるための科目を設けます。
- 5) 高度な看護の実践者としての能力と質担保のために、OSCE を含む段階的な試験を実施します。
- 6) 保健・医療・福祉現場の実践的な課題解決に必要な研究能力を身につけるために、特定課題研究を実施します。

8 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

○修士論文コース

所定の単位を履修し、論文審査等に合格した者には、看護の専門分野において科学的根拠に基づく高度な看護実践能力、看護研究能力、及び国際的視点で保健・医療・福祉の向上・発展に貢献できる修士に相応しい能力を修得したことを認め、修士(看護学)の学位を授与します。

○プライマリケア看護コース

以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した者には、修士（看護学）の学位を授与します。併せて、8区分17行為の特定行為研修の修了、一般社団法人日本NP教育大学院協議会のNP（診療看護師）資格認定試験の受験資格を取得することができます。

- 1) 包括的健康アセスメント能力
- 2) エビデンスに基づいた知識と技術の健康教育を効果的に実践する能力
- 3) 必要な臨床判断、治療の管理、治療効果の判断を自律的に実践する能力
- 4) チームワーク・協働能力
- 5) 倫理的意志決定能力
- 6) 実践課題を解決するための研究能力